

政策シート

(政策名) 観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化
(予算費目名) 観光・シティプロモーション振興費

(総合計画体系)

「分野」 産業経済

30年後の姿 創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。

- 10年後の目標
- 輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。
 - 来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。
 - 多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

◆基本政策 世界の一步先を行く産業・サービスの創造

◇政策の概要

観光が地域の持続的発展を支える主要産業に位置付けられ、多様な主体による観光地域づくりにより市民が愛着や誇りを持てる都市を実現するため、戦略的な観光誘客と推進基盤を確立する。

◇関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑫生産・消費	⑭海洋資源						
--------	--------	-------	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	H27	H28	H29	H30	R1
予算	502,509	950,741	1,986,396	1,200,031	1,466,975
決算	465,004	1,003,284	1,586,069	1,087,969	
人件費(A)	84,700	116,300	134,500	122,500	120,400
報酬(B)					
年間経費(予算又は決算+A+B)	549,704	1,119,584	1,720,569	1,210,469	1,587,375

◇政策の指標

政策指標	単位	R6 目標値	年度	H27	H28	H29	H30	R1
観光交流客数	千人	-	目標	19,400	20,400	21,000	22,330	23,700
			実績	18,276	19,234	21,357	(R1.10確定)	
			目標					
			実績					

◇平成30年度の政策評価(政策の概要)

観光・コンベンションの振興による地域経済の活性化に向け、産業や自然環境などの地域資源を活かし、観光客誘致事業、浜松・浜名湖DMO形成支援事業、海外戦略推進事業、MICE推進事業、観光宣伝事業、ふるさと納税事業などを行い誘客を図った。

◇平成30年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り
第3期となる浜名湖観光圏整備計画の策定や、新たに立ち上げた地域連携DMOを核とした多様な関係者との連携・協業、台北市との相互誘客キャンペーンの実施、フィルムコミッションの推進等を通じて、観光誘客の推進体制を強化し、戦略的に事業を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工			報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	
1	観光施設運営事業					249,373	243,773	0.8			
2	観光客誘致事業	○	○	○		210,239	192,039	2.6			
3	浜松・浜名湖DMO形成支援事業	○	○	○		32,600	27,700	0.7			
4	海外戦略推進事業	○	○	○		85,712	52,112	4.8			
5	MICE推進事業	○	○	○		56,516	55,816	0.1			
6	観光宣伝事業	○	○	○		95,779	69,879	3.3			1.0
7	ふるさと納税事業			○		825,697	813,097	1.0			2.0
8	観光施設整備基金積立金					727	27	0.1			
9	観光・シティプロモーション運営経費					30,732	12,532	2.6			
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計						1,587,375	1,466,975	16.0			3.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 観光施設運営事業

◇事業目的・事業対象

観光客に対する利便性等を高めるため、市が所管する観光施設等を運営・管理する。

◇事業の概要

下記の観光施設等の維持修繕及び運営・管理を行う。

①館山寺地区(ターミナル、サンビーチ、トイレ等)、②東海自然歩道(歩道、休憩舎、トイレ等)、③観光バス公共駐車場(指定管理)、④舞阪駐車場(弁天島海浜公園、渚園、舞阪表浜)、⑤渚園(指定管理)、⑥弁天島海浜公園(直営・管理運営)、⑦気賀関所(指定管理)、⑧浜松まつり会館(指定管理)、⑨犀ヶ崖資料館(直営・管理運営)、⑩相津マリナー(指定管理)、⑪国民宿舎奥浜名湖(指定管理)、⑫その他施設(旧浜名湖かんざんじ荘(建物貸付)、あらたまの湯等)。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	206,600	206,355	276,095	298,628	243,773
	決算	184,482	215,016	267,778	277,716	
	国・県支出	6,629	5,970	5,948	6,732	9,437
	市債					
	その他	110,440	122,185	92,141	77,317	87,787
	一般財源 一般会計繰入金	67,413	86,861	169,689	193,667	146,549
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		7,000	5,600	5,600	5,600	5,600
人工	正規	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.7
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

観光施設等の運営を通じて、観光客の利便性や満足度を高め、観光交流客数の拡大を推進することは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

下記の観光施設等の維持修繕及び運営・管理を実施した。
 ①館山寺地区(ターミナル、サンビーチ、トイレ等)、②東海自然歩道(歩道、休憩舎、トイレ等)、③観光バス公共駐車場(指定管理)、④舞阪駐車場(弁天島海浜公園、渚園、舞阪表浜)、⑤渚園(指定管理)、⑥弁天島海浜公園(直営・管理運営)、⑦気賀関所(指定管理)、⑧浜松まつり会館(指定管理)、⑨犀ヶ崖資料館(直営・管理運営)、⑩相津マリーナ(指定管理)、⑪国民宿舎奥浜名湖(指定管理)、⑫その他施設(旧浜名湖かざんじ荘(建物貸付)、あらたまの湯等)。

・事業の成果と課題

指標の達成度

 市内観光施設などの維持修繕、管理運営を適正に実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市内観光施設などの維持修繕、管理運営を適正に実施した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

観光客に対する利便性の向上などにより観光誘客の拡大を図るため、引き続き市内観光施設などの維持修繕・管理運営を行う。

事業シート (事業名) 観光客誘致事業

◇事業目的・事業対象

観光交流人口等を拡大するため、大型観光誘客イベントを開催する。
 また、国内外からの観光誘客及び滞在促進に向け、国から認定を受けている「浜名湖観光圏」の整備に向けた事業を官民連携で推進する。

◇事業の概要

- (1) 浜松まつり事業
本市最大のイベントである浜松まつりの開催を通じて、観光交流人口を拡大する。
- (2) 出世の街 浜松 家康公祭り事業
「出世の街 浜松」の全国発信並びに家康公ゆかりの歴史的・文化的財産や価値を再発見し、新たな文化・観光を創出する。
- (3) デスティネーションキャンペーン推進事業
平成31年4月～令和元6月に開催する国内最大の観光キャンペーン「静岡デスティネーションキャンペーン(DC)」及び令和2年4月～6月のアフターDCの成功に向け、魅力ある商品造成や旅行会社への売り込み、キャンペーンなどを実施する。
- (4) 浜名湖観光圏整備推進支援事業【H27-H30重点戦略項目 No.17】【R1-R4重点戦略項目 No.33】
浜名湖観光圏整備計画に基づき、観光協会や関係事業者など浜名湖周辺の官民33団体が構成する「浜名湖観光圏整備推進協議会」において、観光誘客事業を実施する。
- (5) 「いだてん」プロジェクト推進事業
大河ドラマの主人公の1人である田畑政治氏を顕彰しつつ、観光誘客や地域振興につなげる事業を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
不明	-	一般会計	自治事務(その他)	-	○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	201,834	561,601	608,438	105,749	192,039
	決算	114,666	616,130	516,878	122,121	
	国・県支出	18,397	15,000			37,650
	市債					
	その他	100	24,300	9,000	18,000	36,000
	一般財源 一般会計繰入金	96,169	576,830	507,878	104,121	118,389
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		13,300	50,500	50,500	21,000	18,200
人工	正規	1.9	6.7	6.7	3.0	2.6
	再任用(h31)		1.0	1.0		
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.7
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

各事業を通じて、観光交流客数の拡大を推進することは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
観光交流客数(千人)					Ⅲ-2(2)イ		33	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	19,400	20,400	21,000	22,330	23,700	27,000	29,700	
実績値	18,276	19,234	21,357	(R1.10確定)				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
滞在プログラム数(件)					17			
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	50	70	80	100	100	100	100	
実績値	64	59	82	96				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【決算105,749千円(うち前年度繰越 24,622千円)】

(1) 浜松まつり事業

本市最大のイベントである浜松まつりを開催することにより、観光客の誘致及び交流人口の拡大を図る。

(2) 出世の街浜松家康公祭り事業

出世の街浜松家康公祭りを開催し、市域外への浜松のアピールをはじめ、観光誘客及び交流人口の拡大、更には家康公が遺した歴史的・文化的財産や価値を再発見し、新たな文化・観光を創出しながら都市の魅力向上を目指す。

(3) デスティネーションキャンペーン推進事業

平成31年4月～令和元年6月に開催する国内最大の観光キャンペーン「静岡デスティネーションキャンペーン(DC)」及び令和2年4月～6月のアフターDCの成功に向け、魅力ある商品造成や旅行会社への売り込み、キャンペーンなどを実施する。

(4) 浜名湖観光圏整備推進支援事業【H27-H30重点戦略項目 No.17】

浜名湖観光圏整備推進協議会において事業を実施する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

進んでいる

浜松まつり、出世の街浜松家康公祭りなどを開催し、観光誘客、交流人口の拡大につなげた。

第3期となる浜名湖観光圏整備計画を策定し、ブランドコンセプト「海の湖」を掲げ、浜名湖観光圏の更なる発展に向け、推進体制を整備した。

静岡DCのプレキャンペーンを実施するとともに、DC本番に向けた商品造成やセールスプロモーション等を行った。

課題としては、地域の観光を担う人材の育成が必要である。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

家康公祭りでは、各地の武将隊によるステージやコスプレイベントを開催することにより、新たな客層を開拓した。浜名湖観光圏整備推進協議会では、ガストロミツリズムなどニューリズムに対応していくため、第3期の計画を作成し、それに合わせて官民参加のワーキンググループを再編し、事業の推進を図ることとした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

家康公祭りでは、2020年の家康公浜松城築城450年に合わせて、実施事業を検討する。静岡DCでは、個人旅行者や旅行エージェントに対し、多岐にわたるセールスを実施する。また、本番期間の事業結果を分析し、関係機関と共にアフターDCを含め、次年度以降の取組を検討していく。

補助シート (事業名) 観光客誘致事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
33	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
17	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり ・国の「観光地域ブランド確立支援事業」による支援	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり ・国の「観光地域ブランド確立支援事業」による支援	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり	・浜名湖観光圏における観光地域ブランドづくり

事業シート (事業名) 浜松・浜名湖DMO形成支援事業

◇事業目的・事業対象

地域が観光で稼ぐ力を強化するため、本市と湖西市を圏域とする地域連携DMOの形成を支援する。

◇事業の概要

【R1-R4重点戦略項目No.34】

(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューローに対して負担金を支出し、下記の事業を通じて地域連携DMOによる観光地域づくり体制を形成する。

(1)DMOの機能強化

専門人材を登用し、マーケティングに基づく戦略策定などDMO組織のマネジメント力を強化する。

(2)マーケティング調査

KPIの測定のためのデータ収集や分析、インバウンド動態などのマーケティング調査を実施する。

(3)収益モデルの構築・民間事業者との事業連携

マーケティング結果や戦略を民間事業者と共有し、収益モデルの構築に向けた連携や協業を促進する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H29	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算			3,980	27,700	27,700
	決算			3,980	27,700	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源			3,980	27,700	27,700
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)					16,100	4,900
人工	正規				2.3	0.7
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.7
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

浜松・浜名湖DMOの形成を支援し、観光交流客数の拡大につなげることは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
一人当たり旅行消費額(円)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	34	
目標値			34,500	35,500	23,200	34,000	34,000	
実績値	27,652	26,644	16,189	(R1.12確定)				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
来訪者満足度 (%)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	90	
目標値			89	89	90	90	90	
実績値	88	90	88	(R1.12確定)				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- ①DMOの機能強化
 専門人材を登用し、マーケティングに基づく戦略策定などDMO組織のマネジメント力を強化する。
- ②マーケティング調査
 KPIの測定のためのデータ収集や分析、インバウンド動態などのマーケティング調査を実施する。
- ③収益モデルの構築・民間事業者との事業連携
 マーケティング結果や戦略を民間事業者と共有し、収益モデルの構築に向けた連携や協業を促進する。

・事業の成果と課題

指標の達成度

- ①H29年度に登用した人材を事業本部長とし、DMOとして事業を展開した。
- ②KPI測定、事業やプロモーション方法の改善に向け、マーケティング調査を実施した。
- ③企業や地元大学などと連携協定を締結し、国内外の観光客に向けた情報発信を強化した。また、二次交通の確保のため、交通機関等との調整により、日本人向け周遊パスポート(2日間公共交通機関等が乗り放題)の販売などを開始した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

専門人材の登用により、マーケティングに基づく観光地経営を行う機能を付加したことで、DMO候補法人からDMO法人への認定が認められ、地域連携DMOとしての基盤の確立に向け事業をスタートした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

観光地域づくりの舵取り役であるDMOが地域をけん引する体制を構築することで、地域が観光で稼ぐ力を強化する。

補助シート (事業名) 浜松・浜名湖DMO形成支援事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
34	<ul style="list-style-type: none"> ・DMOの機能強化 ・マーケティング調査 ・収益モデルの構築・民間事業者との事業連携 			

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) 海外戦略推進事業

◇事業目的・事業対象

アジア地域をはじめとした海外からの観光誘客のため、都市間交流の推進と新規マーケット開拓やトップセールス等を実施し、本市の国際的認知度を向上させるとともに、外国人観光客が快適な観光を楽しめるように受入態勢を構築する。

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.13、14、18】【R1-R4重点戦略項目 No.36、37】

(1)インバウンド推進事業

- ・ビジットハママツ推進事業
- ・ラグビーワールドカップ2019誘客推進事業
- ・浜名湖観光圏整備推進協議会負担金
- ・広域連携団体負担金
- ・多言語版観光パンフレット等作成 ほか

(2)グローバル人材活用事業

- ・国際交流員の招致
- ・CLAIRの制度を活用し、友好都市の杭州市から職員受入れ
- ・台湾連絡員の設置

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H19	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	12,123	42,393	51,872	42,990	52,112
	決算	40,529	37,964	42,066	38,292	
	国・県支出	12,704	9,644	13,055	14,595	
	市債					
	その他					
	一般財源 一般会計繰入金	27,825	28,320	29,011	23,697	52,112
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		19,600	16,100	16,100	16,100	33,600
人工	正規	2.8	2.3	2.3	2.3	4.8
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

人口減少社会を迎え国内消費が縮小する中、旅行消費の獲得に向けた外国人観光客の誘致は、地域経済の活性化に大きく寄与し、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
海外戦略担当部署の設置							13	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	設置に向けた検討	達成	-	達成	-	-	-	
実績値	達成							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
トップセールスの実施回数(回)							14	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	3	3	3	3	3	3	3	
実績値	3	3	3	3				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
無料Wi-Fi整備支援件数(件)							18	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	50	16	20	50(累計)	-	-	-	
実績値	14	19	9	42(累計)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
外国人延べ宿泊者数(千人/年)					Ⅲ-2(2)イ		13	36
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	215	236	257	350	360	390	410	
実績値	399	333	304	(R1.8確定)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
欧米豪からの外国人宿泊客数(千人/年)								37
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					36	39	41	
実績値	19	16	24	(R1.8確定)				

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目 No.13、14、18】

(1)インバウンド推進事業

- ・ビジットハママツ推進事業
- ・浜名湖観光圏整備推進協議会負担金
- ・広域連携団体負担金
- ・多言語版観光パンフレット等作成 ほか

(2)グローバル人材活用事業

- ・国際交流員の招致
- ・CLAIRの制度を活用し、友好都市の杭州市から職員受入れ
- ・台湾連絡員の設置

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・平成30年(1月-12月)の市内外国人宿泊者数は、前年落ち込んだ中国市場が持ち直したことから、対前年比11.4%増の332,087人であった。(経済効果推計値:56.2億円)
- ・周辺自治体や二次交通事業者等との広域連携・官民連携についても、旅行博出展、現地セミナー・商談会、FAMトリップなど幅広い連携へと順調に進展しており、本市への送客に向けた広域観光ルートの設定から商品造成・販売へとつながっている。
- ・台北市との相互誘客キャンペーン実施や杭州市からの研修員受入、瀋陽市をはじめとした交流都市からの教育旅行等の受入など「交流都市協定」を活用した事業も積極的に展開した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・台北市と締結した観光交流都市協定が5周年を迎えたことを記念し、現地で交流コンサート及び観光プロモーションを開催するため、ビジットハママツ推進事業の事業費を増額して対応した。
- ・ラグビーワールドカップを契機とした欧米豪市場開拓に向け、H30年度からフランス・オーストラリアを開拓市場と位置付けた取り組み(フランス旅行博出展、オーストラリア商談会出展・FAMトリップ開催)を進めた。
- ・農業水産課SAVOR JAPAN事業と連携し、国内商談会・海外旅行博(マレーシア)に出展した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ラグビーワールドカップを目的に訪日する外国人観光客の宿泊を獲得するため、OTA(Online Travel Agent)を活用したデジタルプロモーションを実施し、本実績を踏まえてデジタルマーケティングの本格的な導入を検討する。
- ・静岡県海外事務所や周辺自治体、二次交通事業者との広域連携・官民連携を更に進めるとともに、団体旅行の獲得に向けてはBtoB商談会への出展、個人旅行の獲得に向けてはメディアプロモーション、FITフェア出展、デジタルマーケティングなど成果に直結する取り組みを進める。

補助シート (事業名) 海外戦略推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
36	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド事業推進方針の策定 ・ターゲット市場でのプロモーション及びセールス ・受入環境の整備 			
37	<ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪市場におけるプロモーション及びセールス ・体験型観光コンテンツ等の造成及び販売支援 			

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
13 14	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット地域へのプロモーション ・西湖-浜名湖連携プロモーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット地域へのプロモーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット地域へのプロモーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット地域へのプロモーション
18	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客受入態勢の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客受入態勢の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客受入態勢の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客受入態勢の整備

事業シート (事業名) MICE推進事業

◇事業目的・事業対象

国際会議や展示会、企業等の会議や報奨・研修旅行等の誘致を推進し、観光交流客数と観光消費額を増加する。

※MICE

◇事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.15】【R1-R4重点戦略項目No.38】

(1)観光・コンベンション推進事業

官民連携による観光振興・MICE誘致事業推進体制の整備やコンベンション主催者へのセールス活動などを行う。

(2)コンベンション開催支援事業負担金

本市で国際会議などを開催する主催者に対して一定額を支援(開催助成金等)する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H1	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算		55,115	55,316	52,816	55,816
	決算	52,830	54,926	55,313	52,564	
	国・県支出	22,139				
	市債					
	その他					
	一般財源	30,691	54,926	55,313	52,564	55,816
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等)(千円)						
人件費(千円)		3,500	700	700	700	700
人工	正規	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.7
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

MICEの推進を通じて、観光交流客数の拡大を推進することは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。

◇事業の指標 (R1: 総合戦略最終年度、R4: 重点戦略最終年度、R6: 基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
国際会議等誘致件数 (件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	15	38
目標値	2	3	3	3	5	5		5
実績値	4	3	3	5				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
新規賛助会員数 (団体)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値	35	35	35	35	35	35		35
実績値	82	6	9	19				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
コンベンション支援件数 (件)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値	170	200	200	200	200	200		200
実績値	171	166	150	184				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
コンベンション総消費額 (億円)								
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値			90	90	90	90		90
実績値	90	83	81	(R1.5確定)				
主な事業活動・事業成果 指標 (単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4		
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

【H27-H30重点戦略項目No.15】

- ・観光プラットフォームの構築やコンベンション開催地としての魅力向上に向け、浜松・浜名湖ツーリズムビューローに業務を委託した。
- ・コンベンションの開催支援や主催者への助成を行うため負担金を交付した。

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

浜松・浜名湖ツーリズムビューローを中心とした官民一体の推進体制により、観光振興・MICE誘致、それに関する情報収集と発信に向けた事業を実施したことにより、国際会議の誘致件数が増加した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

コンベンション件数を増加させるために、他県ビューローの助成金制度の研究・ヒアリングを実施した。
また、主催者の負担を軽減するため、実績報告方法を見直すとともに、魅力のある助成制度とするため、国際会議開催時におけるアトラクション利用を助成の対象とした。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜松・浜名湖ツーリズムビューローのプロモーション活動によって誘致されたコンベンションについて、コンベンション施設の収益の一部を同ビューローが得ることにより、同ビューローの自立性を高めるとともに、誘致活動を強化する。

補助シート (事業名) MICE推進事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
38	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンションの誘致 ・コンベンションの支援 			

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30
15	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンションの誘致 ・コンベンションの支援 			

事業シート (事業名) 観光宣伝事業

◇事業目的・事業対象

観光案内等の情報発信、広域観光振興団体への参画、市内各地域の観光事業の振興、ロケの誘致、特産品のPRなどを通じて観光誘客を推進する。

◇事業の概要

- (1)観光案内推進事業
 観光インフォメーションセンターや各地区の観光案内所、ウェブサイト「浜松だいすきネット」の管理運営などを行う。
- (2)観光宣伝支援事業
 観光振興を目的とする各種団体に参画し、広域観光事業等を実施する。
- (3)観光振興助成事業
 市内各地域の観光協会が行う観光振興事業を支援する。
- 【R1-R4重点戦略項目 No.44】
- (4)フィルムコミッション推進事業
 映画やドラマ等の誘致や撮影活動を支援する。
- (5)特産品カタログギフト事業
 本市の特産品等をまとめたカタログギフトを販売する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
不明	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	68,161	71,164	77,076	75,479	69,879
	決算	60,554	67,362	71,883	65,825	
	国・県支出					
	市債					
	その他	5,000	17,000	9,000	4,000	7,000
一般財源		55,554	50,362	62,883	61,825	62,879
一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		26,600	30,100	30,100	30,800	25,900
人工	正規	3.4	3.9	3.9	4.0	3.3
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.7
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

観光に関する情報発信を強化することで、観光交流客数の拡大につなげることは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
観光交流客数(千人)					Ⅲ-2(2)イ		33	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	19,400	20,400	21,000	22,330	23,700	27,000	29,700	
実績値	18,276	19,234	21,357	(R1.10確定)				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
撮影支援件数(件)							44	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値					190	214	230	
実績値				182				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
					H27~H30		R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

- (1)観光案内推進事業
 - ・観光インフォメーションセンター、観光案内所、ツーリズムセンターの運営及び観光案内ウェブサイトの管理運営のほか、観光パンフレットの作成、広告の掲出など、本市の魅力や観光情報を発信し、観光誘客の拡大を図る。
- (2)観光宣伝支援事業
 - ・観光振興を目的とする各種団体に参画し、連携事業の実施、広域観光事業などの情報収集を行う。
- (3)観光振興助成事業
 - ・市内各地域の観光事業の振興とその円滑な推進を図ることにより、本市の観光誘客力を強化する。
- (4)フィルムコミッション推進事業
 - ・浜松市内へのロケ誘致やロケ支援を行うことにより、ロケ隊の直接的経済効果に加え、放映による本市の知名度の向上、集客力の強化、観光誘客による地域の活性化を図る。
- (5)特産品カタログギフト事業
 - ・本市の特産品等をまとめたカタログを活用して、特産品や商品の知名度を向上し、誘客を促進するとともに特産品の販路を拡大し、地域経済の振興につなげる。

・事業の成果と課題

指標の達成度

フィルムコミッションの取り組みによりロケ支援件数が伸びている。支援作品等を活用した観光誘客につなげる取り組み強化する。
 また、地域連携DMOの設立や静岡 destination キャンペーンにおいて浜松市・湖西市と中東遠がそれぞれに取り組みをしていることなど、地域連携の形態が変化したことに伴い、静岡県西部地区観光協議会を解散した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

フィルムコミッション推進室を設置し、専任職員を設けた中で、支援活動が軌道に載ってきたことに伴い、ロケ支援件数が大きく伸びた。
地域連携DMOの設立や静岡デスティネーションキャンペーンにおいて浜松市・湖西市と中東遠がそれぞれに取り組みをしていることなど、地域連携の変化に伴い、静岡県西部地区観光協議会を解散した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

本市が加入している観光関係団体への負担金については、費用対効果などを検証し、参加の必要性を検討する。
観光協会への助成について、費用対効果を可視化するため、目標値の設定を必須とする。

補助シート (事業名) 観光宣伝事業

◇【R1～R4】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	R1	R2	R3	R4
44	<ul style="list-style-type: none"> ・ロケ候補地の新規開拓 ・撮影受入環境の整備 			

◇【H27～H30】事業工程表 (No.: 重点戦略項目No)

No.	H27	H28	H29	H30

事業シート (事業名) ふるさと納税事業

◇事業目的・事業対象

ふるさと納税制度に基づき、全国から寄附金を集めるとともに、特産品の返礼を通じて地域産業を振興する。

◇事業の概要

寄附受付サイトを活用し、全国から寄附金を集めるとともに、寄附者に対して本市の特産品を返礼品としてお贈りする。

①寄附受付サイト

ふるさとチョイス、さとふる、ANAのふるさと納税、楽天ふるさと納税、ふるなび、ふるまる、Wowma！ふるさと納税

②返礼品

浜名湖うなぎ、浜松餃子、三ヶ日みかんなど約1,000種類

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H20	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	○

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算			900,729	583,506	813,097
	決算			616,786	492,477	
	国・県支出					
	市債					
	その他					
	一般財源			616,786	492,477	813,097
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)				18,200	21,000	12,600
人工	正規			2.2	2.2	1.0
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤			1.0	2.0	2.0

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.7
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

特産品のプロモーションにより観光誘客を推進するとともに、特産品の返礼を通じた地域産業の振興により、持続可能な経済成長へとつなげる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
ふるさと納税寄附額(百万円)							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	50	85	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
実績値	31	790	944	935				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
ふるさと納税寄附件数(件)							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値	3,000	3,580	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000	
実績値	1,673	24,873	43,006	49,370				
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30	R1~R4
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

■ふるさと納税事業

ふるさと納税による寄附金受入額を増加させるため、ふるさと納税ポータルサイトの利用による寄附受付等を実施。また、返礼品を通じて本市の魅力を発信するためのプロモーション業務等を実施。

○寄附受付サイト

- ・ふるさとチョイス(株)トラストバンク) ・さとふる(株)さとふる) ・ANAのふるさと納税(全日空商事株)
- ・楽天ふるさと納税(楽天株) ・ふるなび(株)アイモバイル) ・ふるまる(レッドホースコーポレーション株)
- ・Wowma! ふるさと納税(KDDI)

○ワンストップ特例申請処理

- ・件数:9,230人(10,698件)、送付先自治体:833か所

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

・返礼品の充実や寄附受付サイトを追加したほか、WEB広告及び雑誌広告などの取り組みにより、前年並みの寄附金を確保するとともに、寄附件数は前年度を上回った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・ふるさと納税ポータルサイトの追加による寄附者の利便性向上や、シティプロモーション事業と連携したプロモーションなどにより、前年度を上回る寄附件数となった。
- ・総務省通知を遵守し、返礼品の見直しを行った(地場産品以外の返礼品の取止め)。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

地方税制改正を受けてふるさと納税制度を適切に運用するなかで、寄附受付サイトの拡充や返礼品の拡充、戦略的なプロモーションなどを実施し、寄附金受入額を増加させる。

事業シート (事業名) 観光施設整備基金積立金

◇事業目的・事業対象

浜松市観光施設整備基金に予算で定める額を積み立て、温泉を利用する地域における観光施設の整備費に充当する。

◇事業の概要

浜松市観光施設整備基金の運用利子の積立
 温泉を利用する地域の観光施設の整備費に充てるため、浜松市観光施設整備基金に基金の運用利益及び入湯税のうち予算で定める額を積み立て、「浜松市観光施設整備基金に関する条例」第6条(処分)に合致した観光施設整備事業を行う際に予算で定める額を一般会計へ繰り出すもの。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
S53	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	270	141	27	223	27
	決算	270	141	67	222	
	国・県支出					
	市債					
	その他	270	141	67	27	27
	一般財源				195	
	一般会計繰入金					
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		700	700	700	700	700
人工	正規	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.7
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

計画的に基金を積み立て、観光施設の計画的な整備・維持に努めることは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No	
							H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

温泉を利用する地域の観光施設の整備費に充てるため、浜松市観光施設整備基金に基金の運用利益及び入湯税のうち予算で定める額を積み立てる。

当初、入湯税のうち予算で定める額を毎会計年度積み立てていたが、平成6年度から入湯税の積み立ては行っていない。現在、金融機関での基金運用により発生する利子を積み立てている。

浜松市観光施設整備基金に関する条例第6条(処分)に合致した整備事業を行う際、予算で定める額を一般会計へ繰り出す。【現在、積み立てられている基金の入湯税は館山寺温泉分。】

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

基金運用収入を積み立てた。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工
基金運用収入を積み立てた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工
計画的に基金を積み立てる。

事業シート (事業名) 観光・シティプロモーション運営経費

◇事業目的・事業対象

観光・シティプロモーション課における一般事務や観光政策の推進に必要な経費を執行する。

◇事業の概要

観光政策の推進に関わる一般事務経費。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)	-	-	-	-

◇事業のコスト

		H27	H28	H29	H30	R1
事業費(千円)	予算	13,521	13,972	12,863	12,940	12,532
	決算	11,673	11,745	11,318	11,052	
	国・県支出					
	市債					
	その他	147	143	143	142	144
一般財源		11,526	11,602	11,175	10,910	12,388
一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)						
人件費 (千円)		14,000	12,600	12,600	10,500	18,200
人工	正規	2.0	1.8	1.8	1.5	2.6
	再任用(h31)					
	再任用(h26)					
	非常勤					

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	
③ 保健		⑫ 生産・消費	○ 12.b
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	○ 14.7
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用	○ 8.9	⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

観光政策を効率的に進めることは、「雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業」を促進するものであり、「持続可能な経済成長」につながる。

◇事業の指標(R1:総合戦略最終年度、R4:重点戦略最終年度、R6:基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略項目No H27~H30 R1~R4	
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R4	R6	
目標値								
実績値								

◇平成30年度の事業評価

・平成30年度の事業の概要

観光・シティプロモーション課の一般事務に要する経費。

・事業の成果と課題

指標の達成度

観光・シティプロモーション課の事務遂行のため適正に諸経費を執行した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

各区を含め、観光振興やシティプロモーションに向けた経費を効果的に執行した。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

区を含め、観光振興やシティプロモーションに向けた経費の効果的な執行を図る。